

令和6年8月21日（水）

・13:30～ 衆議院第1議員会館内会議室

衆議院議員 平井 卓也 様、参議院議員 磯崎 仁彦 様、参議院議員 三宅 伸吾 様、衆議院議員 瀬戸 隆一 様 秘書、衆議院議員 大野 敬太郎 様 秘書に要望書を手渡しました。

各議員からは、「新幹線は、我が国の基幹的な高速輸送体系であり、災害対応の観点からも、四国がその体系に含まれていないことは問題である。四国への新幹線導入に向けて、法定調査を実施するための予算が措置されるよう、我々、香川県選出の国会議員が一丸となって、しっかりと取り組んでいきたい。」とのご回答をいただきました。



・14:50～ 国土交通省内政務官室

国土交通大臣政務官 こやり 隆史 様に要望書を手渡しました。

こやり政務官からは、「四国ブロックのみが、新幹線未整備地域だということは認識している。まずは、整備新幹線の進捗を図る必要があるが、『骨太の方針 2024』においては、新幹線の基本計画路線に関し、『方向性も含め調査検討を行う。』との新たな方針を示している。皆様の熱意はしっかりと受け止めた。四国への新幹線導入をどのように進めていくのか、検討していきたい。」とのご回答をいただきました。



・15:30～ 財務省内会議室

財務省主計局次長 中島 朗洋 様に要望書を手渡しました。

中島次長からは、「限りある予算の中で、整備新幹線とともに、四国の新幹線をどのように進めていくのか、国土交通省と意見交換をしていきたい。」とのご回答をいただきました。



・16:15～ 衆議院第2議員会館内会議室

自由民主党 整備新幹線等鉄道調査会会長 稲田 朋美 様に要望書を手渡しました。

稲田会長からは、「今年3月の北陸新幹線（金沢・敦賀間）の開業の状況も見た。新幹線整備による経済効果等については、十分に理解している。また、基本計画から整備計画への格上げ、そして、整備計画から工事着手まで、かなりの時間を要することも分かっている。四国の新幹線の早期実現に向けて、応援していきたい。」とのご回答をいただきました。



・16:30～ 会長及び副会長による取材対応

会長 高松市長 大西 秀人、副会長 三豊市長 山下 昭史、副会長 宇多津町長 谷川 俊博による、マスコミ取材対応を行いました。



【総 括】

本期成会は、今回の要望活動において、単に要望を行うだけでなく、基礎自治体としても、四国新幹線の導入の意義や役割、また、整備事業費や並行在来線の在り方などのメリット・デメリットの双方について、様々な角度からの検証を行うことで、地元機運の醸成につなげていく考えであることをお伝えしました。

各要望先に、地元の連帯の姿勢と熱意をしっかりと伝えることができ、要望を受けていただいた皆様からは、本期成会が、県内の全ての市長及び町長で構成されていることにも触れ、「大変、意義ある取組」との評価をいただいたと考えております。

同時に、四国への新幹線導入に向けては、更なる機運の醸成が必要であり、そのために、本期成会を中心に、地元自治体が一丸となって、様々な取組を行っていく必要があることを再認識いたしました。